

農業農村整備事業等事後評価地区別結果書（案）等資料

農村地域防災減災事業（用排水施設等整備事業）

あいさいほくぶ
「愛西北部地区」

（愛知県愛西市）

農村地域防災減災事業

事業目的

自然及び社会経済的環境の変化に対処して、農用地、農業用施設に係る自然災害の発生を未然に防止し、又は農業用排水の汚濁や農用地の土壤汚染を防止し、若しくは地盤沈下等により低下した農用地・農業用施設の機能回復を図ること等により、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、もって国土及び環境の保全に資する

事業内容

1. 防災・減災対策にかかる計画の策定（調査計画事業）
 - ・地域の防災減災対策に必要な諸条件に関する調査・農村地域防災減災総合計画の策定等
2. 農業用施設等の整備（整備事業）
 - ・自然的・社会的要因で生じた農業用施設等の機能低下の回復や災害の未然防止を図るための整備、防災機能を維持するための長寿命化対策の実施、切迫する南海トラフ地震、日本海溝・千島海溝周辺海溝地震等の発生を見据えた防災インフラの整備等



農村地域防災減災事業（用排水施設等整備事業）【愛西北部地区】

事業の概要

〇目的

本地区は、愛知県の西端にある愛西市の北西部に位置し、西側を一級河川木曽川、東側を鵜戸川に挟まれた、大半が海拔ゼロメートル以下の低湿地であり、古くから田園地帯として開けた純農村として発展してきた地域であり、水稻を中心に、れんこんを組み合わせた営農が展開されている。

本地区の幹線西支線水路は、昭和46年度から昭和51年度にかけて木曽川用水事業で建設された延長約2.5kmの現場打鉄筋コンクリートの開水路であったが、建設当時から40年余り経過しており、地盤沈下による用水路の機能低下が著しく、かんがいに必要な容量を送水することが困難な状態になっていたこと、また、水管理等に要する手間も年々増加していた。

このため、地盤沈下による今後の水路勾配の変化に対応するため、本事業により管水路タイプに改修し、地盤沈下による機能低下の発生が未然に防止されることで用水が安定的に供給され、農業生産の維持及び農業経営の安定と、地域住民の生活の安全・安心に資するものである。

〇概要

- ・事業名：農村地域防災減災事業（用排水施設等整備事業）
- ・地区名：愛西北部地区
- ・関係市名：愛知県愛西市
- ・事業費：2,000百万円
- ・事業工期：平成19年度～平成30年度
- ・受益面積：470ha
- ・主要工事：用水路 2.5km
（管水路 口径 1,350mm～1,800mm）

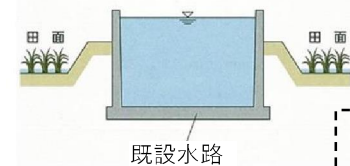


事業の実施状況と効果

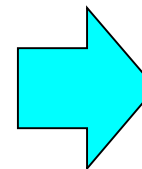
施設の整備状況

※ 用水路の改修

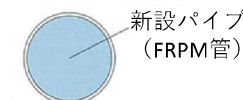
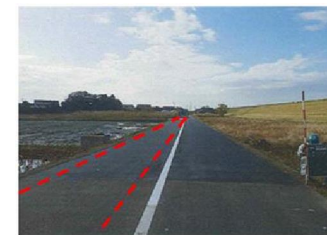
事業実施前



平成18年頃



事業実施後



令和元年

開水路からパイプライン化され管水路上部を耕作道路として利用

事業の効果

※ 総費用総便益比 4.05

◎農業生産額の向上

用水路が改修され、用水が安定供給されるようになり、かんがいに必要な容量が送水されたため、水稻の生産額は概ね維持されているが、れんこんの生産額は減少したものの、計画になかったいちごが新たに作付けられ生産額が増加したことから、地区全体の農業生産は向上している。



収穫されたれんこん

【生産額】

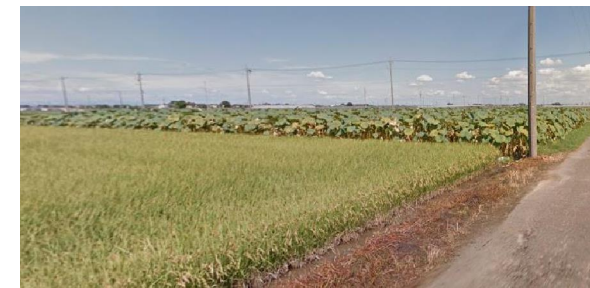
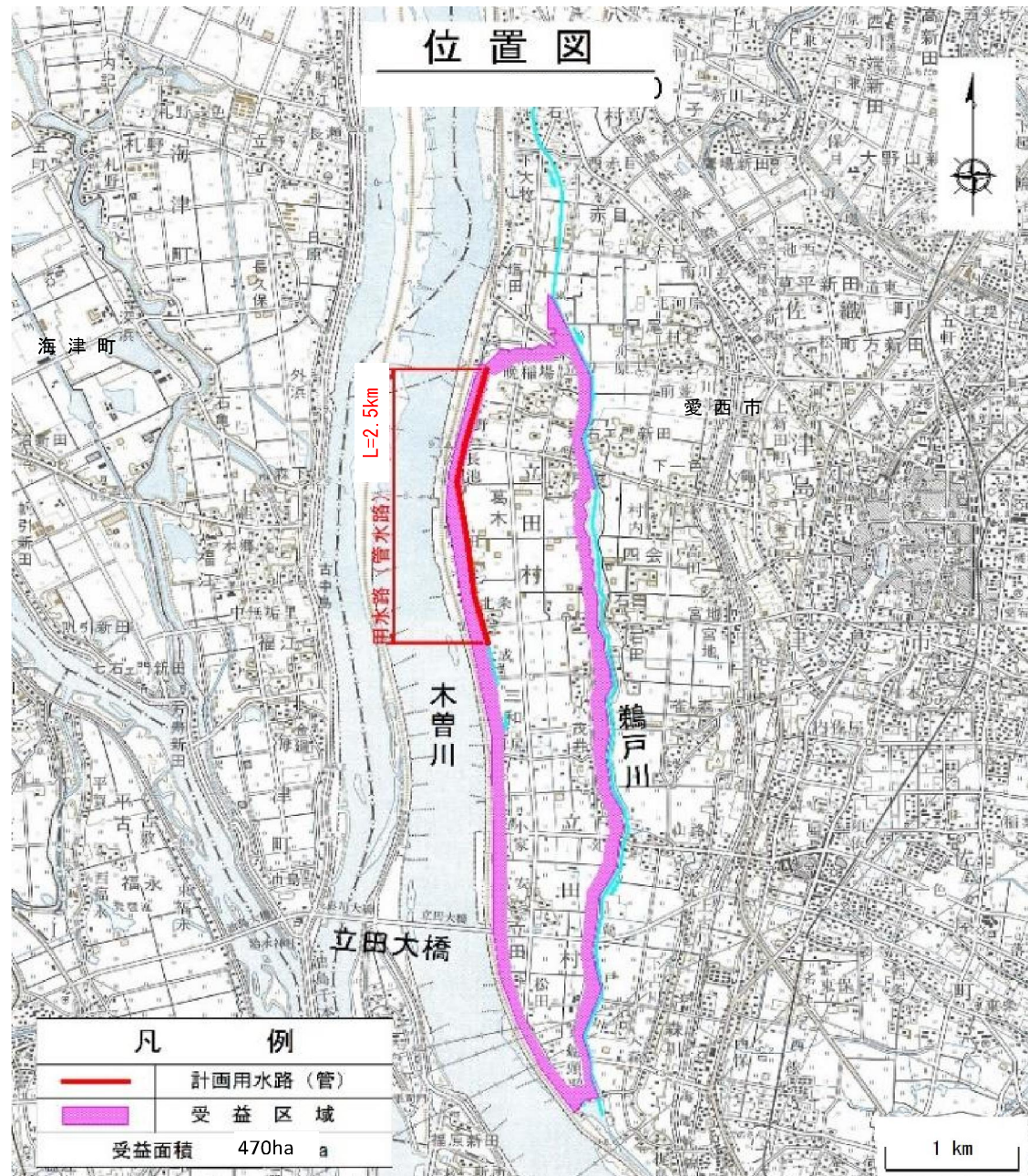
単位：百万円

区分	事業計画（平成18年）		評価時点 （令和6年）
	現況	計画	
水稻	305	305	296
れんこん	788	788	750
いちご	—	—	1,964
合計	1,093	1,093	3,010



いちごの高設栽培

あいさい ほうくぶ
農村地域防災減災事業「愛西北部地区」 概要図



営農状況（水稻・れんこん）



ハス田